

# 2023年度 保護者向け 児童発達支援評価表

公表: 2024年 3月 25日

事業所名:HugHug

保護者等数(家庭数):25人 回収数:18人 割合:72%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	18			体をたくさん動かせてみたいで嬉しい
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか				職員に声をかけづらいことがあると本人から聞いています
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	17	1		
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>児童発達支援計画(★i)</u> が作成されているか	18			とても丁寧に計画書を作成していただいた
	⑤	児童発達支援計画には児童発達ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	15	3		
	⑥	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	17	1		
	⑦	<u>活動プログラム(★ii)</u> が固定化しないよう工夫されているか	17	1		少しずつ言葉が増えてきている気がする
	⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	9	6	3	
	⑨	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	18			
	⑩	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	18			
	⑪	保護者に対して <u>家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(★iii)等)</u> が行われているか	9	9		希望したり促されたことがない為こういったものが分かっていない

保 護 者 へ の 説 明 等	⑫	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	14	4		何をやったのか、出来ているのかは理解しやすいが何が課題と思って関わってくださっているのかがつかめない（何をどう支援で伸ばして下さっているのかわからない）
	⑬	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14	4		
	⑭	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	12	3	わからない。保護者同士の連携は促されていない
	⑮	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14	4		わからない。当施設でたとえばどんな苦情があったのか等保護者が知りうるすべがないため、保護者も実際に何に気を付ける必要があるのかわかりづらいと思います
	⑯	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17	1		
	⑰	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	16	2		公式インスタグラムの説明が毎回詳しく丁寧で写真の枚数も多く、活動の様子がよくわかるので感謝しています。素晴らしい情報を発信されている
	⑱	個人情報に十分注意しているか	18			
非 常 時 等 の 対 応	⑲	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また発生を想定した訓練が実施されているか	16	2		
	⑳	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13	5		訓練が行われているかどうかの実際を知らないためどちらともいえない
満 足 度	㉑	子どもは通所を楽しみにしているか	16	1	1	緊張しているが、刺激をたくさんもらって帰っている。通所日というと大喜ぶ姿を見せる
	㉒	事業所の支援に満足しているか	17	1		いつも温かく見守って下さり感謝しています。ありがとうございます。とても楽しみにしています。毎回「楽しかったよ」と言って帰ってきます

★ i 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項等を記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

★ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日、長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

★ iii 保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子

どもが適切な行動を獲得することを目標とする。

